

平成28年度の環境に関する主な取組予定

項目	内容
綺羅乃湯への木質バイオマスボイラ導入に向けた準備	・寿都町温水プール・ゆべつの湯のRDFとの混燃ボイラー視察(5/16)※ ・補助事業を探すとともにボイラー導入にかかる見積もり、建屋図面、システム配置図などの準備 ・議会への検討状況の説明 ・綺羅乃湯周辺住民への説明
ニセコアンヌプリ温泉湯心亭への温泉排湯利用支援	北海道補助事業「一村一エネ」に申請中。(6月下旬採択通知予定)
地方創生加速化交付金事業	地域経済循環モデルの自治体連携
第2次ニセコ町環境基本計画見直し・環境白書作成	コミュニティ研究所に委託
環境モデル都市フォローアップ資料作成	北海道環境財団に委託
エジュバケーションプログラムの支援	ニセコリゾート観光協会が窓口となり、主にアジアからの夏季の修学旅行生向け環境プログラムを作成し実施する。
地熱資源開発に向けた地表調査	日本重化学工業及び三井石油開発による地表調査開始。関係者で組織する協議会への参加。
広報7月号で「環境モデル都市」特集	2年間の取組内容と今後の予定を広く町民にお知らせ
水生昆虫観察会実施	「FF川を見る会」に委託。1回目7/9齊藤和範氏講師「川を見てみよう」、2回目8月「川で遊ぼう」
「尻別川の未来を考えるオビラメの会」への支援	有島 Pond 飼育池管理及び餌代として「オビラメの会」へ30万円の補助(3年間補助のうち2年目)
綺羅乃湯への電気自動車急速充電器補助	充電スタンド維持費等から民間団体助成金を差し引いた差額99000円の補助
サイエンスカフェinニセコ実施	7/18に開催予定。2月に北大CoStep主催で札幌の紀伊國屋で行ったサイエンスカフェをニセコで行う。「エネルギー自立」をテーマにニセコでの取組を考える。

※5/16寿都町のボイラー情報

・平成26年度新エネルギー導入促進協会の補助を利用し、温水プールとゆべつの湯にイクロス製のボイラー(木質バイオマスとRDFの混燃ボイラー)を導入。

・事業費はボイラー本体と配管のみが補助対象となり、1/2補助。その他ボイラー建屋など補助対象外も含めてゆべつの湯は43,000千円(うち補助16,745千円、過疎債26,200千円)、体育館・プールは41,000千円(うち補助14,905千円、過疎債26,000千円)。

・ゆべつの湯30万kcal、体育館・温水プール20万kcalの規模を導入し、どちらも既存の重油ボイラー(ゆべつの湯は50万kcal×2基)を使いつつ、急な温度変化や冬場には重油ボイラーを使用している(綺羅乃湯は暖房40万kcal、給湯80万kcalの重油ボイラを使用)。

・ストックヤードをつくと消防法の規制がかかるので、規制が不要になるようストックヤードはあえて設けていない。ニセコ運輸から町内業者(産業廃棄物を扱う業者)に燃料を運び、町内業者が週2(夏場)～3回(冬場)直接ボイラーホッパーに投入する。

・日常のメンテナンスは運転時間に灰出し(2回/日程度、当初は灰箱が小さかったので頻繁に灰出しが必要だった)、熱交換箇所の定期清掃(温泉は10日に1度、プールは2週間に1度、3人で2時間。煙突掃除の要領でデッキで熱交換の孔を真っ黒になって掃除する)が必要。大変だがコスト削減になる。